



2017年4月20日 第2277回例会
4月第3例会

RIテーマ Rotary serving humanity
「人類に奉仕するロータリー」

本年度会長テーマ
「ロータリー活動 奉仕の覚醒」

「母子の健康月間」

◆会長時間◆

森脇副会長



去る4月9日(日)に広島YMCAで開催された、第9期RLI-2710パートⅡの研修会に参加いたしました。

この研修会は2710地区の次年度会長、会長エレクトなどを対象とした研修会です。当クラブの諒訪ペーストガバナーの時に始められたものです。ロータリーの質の向上が目的です。研修は3回で終了となります。今回の研修では、6つの分科会があり、各分科会には目標が提示され、地区の委員のディスカッションリーダーを中心として討論形式で進められました。各分科会は50分です。

今回の分科会の課題と目標はつぎのようになっています。

1. 戦略計画とクラブ分析
2. 米山記念奨学会
3. 会員を惹き付ける
4. ロータリー財団Ⅱ目標とする奉仕
5. チーム作り・クラブコミュニケーション
6. 強いクラブを創る

研修は大変有意義なものでした。ロータリーの基礎知識も再確認できました。その中で印象に残ったものは、自分のクラブを分析するということです。当クラブでは戦略計画検証並びに平和活動検討特別委員会がありますが、その必要性を認識することが出来ました。創立50周年に向けて、戦略計画を策定し、品位あるクラブ創りを痛感したところです。

●会務報告

新原幹事

※4月29日(土)開催の広島14RC合同懇親ゴルフ大会参加者に組み合わせ表を配布しておりますので、ご確認ください。

※他クラブ例会臨時変更

5月1日(月) 広島東南RC、広島中央RC、広島廿日市RC 休会に変更

5月2日(火) 広島RC、広島西南RC、広島安芸RC 休会に変更

5月8日(月) 広島廿日市RC 夜間例会に変更

●委員会報告

※プログラム・出席委員会

出席報告 中山委員長

本日(4月20日・木曜日)

会員数 84名 出席者 72名

欠席者 12名 ご来客 1名

ご来賓 1名 ゲスト 3名

計 77名

前々回(4月6日・木曜日)

出席率 100%



※職業奉仕委員会

荒谷委員長

新会員企業の従業員さんを例会にご招待しております。



セムコ・ホールディングス(株)

森田明美さん



ひろしんビジネスサービス(株)
沖野智久さん



ユウベル(株)
菊池洋一郎さん

※ ロータリー情報委員会 諏訪(昭浩)委員長
「例会の消える日はロータリーの消える日」

2630地区 PDG 服部芳樹(岐阜)
源流の会 ロータリアンの広場より
2016年規定審議会で例会頻度に関する規定が変更され、例会は最低1ヶ月に2回開催しなければならないとなりました。これは3回以上開催してはならないと言うことではないのですが、この変更の真意を理解せず拙速に例会頻度を月2回に減らすクラブもあるようです。しかし、そもそも例会出席とはどういう意味を持つのか、という原点を忘れてはなりません。

本記事は、そのような例会軽視に対して警鐘を鳴らすものであり、また、日本のロータリーがなぜこのような原理原則論にこだわる体質であるのか、その理由の一端を示すものです。皆様が例会について考える一助となればとの思いを込めて、以下、記事の要約を掲載します。

「例会よりも、人道奉仕活動と寄付」を重視し、「クラブの会員は、ボランティア活動のできる人ならだれでも入会OK、資格は問わない。数は力なり。」「ロータリアンの価値は寄付高によって決まる。」とお考えの方もいらっしゃるが、その一方で、「例会の消える日はロータリーの消える日」とお考えのロータリアンが沢山おいでになり、「そろそろ退会しよう」という声が方々から聞こえて来るようになった。例会出席が軽視されるような今回の決定を受けて、「日本の伝統的なロータリー文化」を信奉する心が深い人ほど退会もしたくなるだろう。確かに規定審議会の結果だけ見ていると例会頻度は

月2回でよくなつた。しかし、だからといって「例会などにこだわるからロータリーが発展しないのだ」「例会不要」というような誤解があるてはならない。

第二次世界大戦の最中、社会奉仕も国際奉仕も活動できず職業奉仕も儘ならぬ状況の中で残ったものはクラブ奉仕のみとなり、迫害に耐えあらゆる困難を克服して例会を続けた日本のロータリーの歴史を顧み、今も例会場に国旗を掲げ国歌を歌つて先輩の偉業を偲びながら「例会とその出席の意義」を改めて考えると、これが「日本の伝統的なロータリー文化」にあっての「原点を構成する哲学」ではないかとの想いに達する。現今のRIの方向が、成熟した日本のロータリーにとって受け入れ難いものでも、発展途上地区のクラブにとっては良い方法なのかも知れない。また日本でも、それを良しとするクラブを否定するものではない。しかし、誇り高い気品に満ちた「日本の伝統的なロータリー文化」を堅持するために、心あるリーダーの皆様の勇気ある行動が湧起することを信じている。

(2016年9月7日)

※ 前橋次年度幹事

例会終了後、4階「カメリア」において次年度第2回クラブ協議会を開催いたしますので、理事役員及び各委員長は出席願います。

● 会員記念日

■ ご入会記念月おめでとうございます。

(5名)

三浦君 (S 56年)	松岡(幹)君 (S 57年)
小島君 (S 57年)	香川(基)君 (H 8年)
井下君 (H24年)	

■ 創業月おめでとうございます。

(12名)

吉井君 ひろしんビジネスサービス(株)	
南條君 南条工業(㈱)	山縣君 (㈱ニシヒロ
隅田君 (㈲)スミダ総合保険事務所	
瀬崎君 広島電鉄(㈱)	井原君 (医)井原クリニック
川西君 (㈱)トータルホールディングス	
豊岡君 豊岡ヘルシー歯科クリニック	
垂井君 CAF垂井俊郎建築設計事務所	
福田君 (医・社)たかし会尾鍋外科病院	
大植君 大植法律事務所	田原君 (㈱タカラ

●スマイルボックス SAA 柴田君

井原君（自主申告・トリプル）

先日4月13日から16日迄、広島市で開催された第69回日本産科婦人科学会総会において、発表も質問も討議も全部英語でするという International Workshop（インターナショナルワークショップ）で東北大学産婦人科学講座にいる長男が発表しました。

演題を日本語に訳してみると、『卵母細胞に高発現するバゾヌクリン^{ワン}（Basonuclin 1）のスモ化（SUMO化）はピアス^{フォー}（Pias 4）によって促進させる』でした。

何のことかさっぱり分かりませんが、女性の卵細胞の若返りに関するもので、東北大学の生化学講座、アメリカのペンシルベニア大学皮膚科講座、そして同大学の生命科学講座との共同研究だそうです。

昨年は同じ学会で、東京にいる次男が、子宮内の胎児治療についての研究で優良演題賞をもらいましたが、今回長男の方は賞をもらえませんでした。44歳になる双子の息子達が2人共に広島以外で研究者として頑張っているのを喜んではいますが、私の心は複雑です。

古屋君（自主申告・大枚）

古本君（トリプル）

このたび4月17日(月)より、すずらん薬局竹屋町店がオープンしました。地域に根ざしたかかりつけ薬局を目指していきたいと思います。

ビルの設計に関わられた古本君、施工の森信君ありがとうございました。

土井君、柴田君

スマイルソング作詩・作曲の土井君。歌手の私、柴田、出宝いたします。以下、スマイルソングの歌詞を紹介いたします。

口・口・ロータリー広島ウェスト

SAAバージョン（非公認）

口・口・ロータリー 口・口・ロータリー
口・口・ロータリー 口・口・ロータリー
わしらは みんな 広島ウェスト
週に一度 木曜日の昼
例会やります ANAクラウンプラザホテル
今日は中華 それとも弁当

いやいや本日 100万ドルだぜー
シングル ダブル それとも大枚
めでたいスマイル 笑顔で 出宝っポー
シュッシュシュポッポー シュッシュシュポッポー
シュッシュシュポッポー シュッシュシュポッポー
出発進行 どんどん集金
卓話の時間 どこからかイビキ
気持ちは解るが イビキはマズイぜー
口・口・ロータリー 口・口・ロータリー
わしらは死ぬまで みんなでロータリー
いやいや死んでも まだまだロータリー
口・口・ロータリー

■卓 話



「今年のカープ」

元カープ投手
小林誠二氏

プロフィール

1958年1月22日生まれの59歳、広島県比婆郡高野町（現：庄原市）の出身。

広島県立広島工業高等学校に進学、エースとして1975年の第47回選抜高等学校野球大会に出場（2回戦敗退）。

1976年ドラフト4位地元広島東洋カープから指名を受け入団。

プロ入り当初はチームでも1、2を争う速球派で同期入団の北別府学より先に一軍昇格した。

肩を痛めてサイドスローに転向、1981年に西武ライオンズに移籍。

そこでパームボールを習得して頭角を現し、中継ぎ、抑えとして活躍。

1982年のパ・リーグ優勝を決めた試合では胴上げ投手となつた。

1984年、高橋俊春とのトレードで広島に復帰。同年、抑えの切り札として活躍するとともに、最優秀防御率のタイトルを獲得し、チームのセ・リーグ優勝を決める試合では、抑え投手ながら先発完投勝利で胴上げ投手となつた。

しかし、パームボールを投げ続けたことで肘を故障し、1988年30歳で現役を引退した。以後、16年間広島テレビ（日本テレビ系列）で野球解説者を務めていた。

ズームイン朝！の「プロ野球イレコミ情報」に数多く出演。また広島の夕方の人気番組だった柏村武昭のテレビ宣言（現テレビ派）に毎週金曜日のコメンテーターとして出演。

2005年より、中日ドラゴンズの2軍投手コーチを務め、投手王国の建設に貢献され2012年限りで落合博満監督の退任に伴い退団。

現在は、CS放送のJスポーツ、ケーブルTVのプロ野球解説、講演等を中心に活躍中。2014年、高校野球・大学野球を教えることが出来る（学生野球資格回復制度）を取得「修了認証番号 S-0661」

通算成績

222試合登板29勝15敗20セーブ 防御率3.70

タイトル

最優秀防御率投手賞（1984年）

日本シリーズ

10試合登板3勝1敗（西武で2勝、カープで1勝、両リーグ勝利投手は史上初）

今年のカープは、セ・リーグのペナントレースは……。

昨年は、25年振りのセ・リーグ優勝で、広島中が盛り上りました。O.B.としてもたいへん嬉しい思いをしましたが、今年はどうでしょうか？

昭和40年代の巨人、秋山、清原がいた西部、それ以来、セパ両リーグ共、連覇することが難しい時代になってきました。

昨年のカープは、黒田、新井が投打のチームリーダーとして、精神的にも成績もチームを引っ張って優勝まで行くことが出来ました。

今年のカープの課題をあげると、黒田の穴をだれが埋めるか、という点が一番大きいと思います。

ジョンソン、野村の左右の両輪は、安定しているとして、その後の先発投手を考えると、福井、大瀬良、岡田、九里、薮田、塙江、ヘーベンズそして、新人の加藤、床田と数、質、ともに結構充実していますからあまり心配していません。中でも、岡田、加藤、床田は、期待できるとキャンプ時に思いました。もし心配があるとしたらクローザーの中崎です。昨年の終盤の腰痛から始まって、キャンプの状態もいまひとつでしたし、インフルエンザにもかかって出遅れが心配ですね。昨年は信頼できるクローザーに成長しただけに気になります。

打者の方は、各選手とともに順調だと思いました。新外国人のペニヤが、3塁に定着できれば、心配なポジションがあまりありません。

昨年のペナントレースを考えると、優勝できた一番の要因は、大きな故障者が出てなかったことでした。今年は、何人か出ることを想定して、選手層を厚くしてきました。会沢の成長、堂林、西川という野手に期待しましょう。

大補強した巨人、一昨年のチャンピオンヤクルト、チームが充実してきたDeNA、二年目の金本阪神、監督の変わった中日、楽な一年にはならないと思いますが、チーム力は確実についてますし、まちがいなく優勝争いはすると思います。とにかく、セ・リーグを制して逃がした日本一を取りに行って欲しいものです。

● 卓話予告

日 時	テ　ー　マ
5/11(木)	青少年奉仕部門クラブフォーラム 「青少年交換プログラムの成果」 ブレット・ヒスカ氏

例会日・木曜日 12:30～13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 香川 基吉
幹事 新原 靖

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC 検索 